

心と体のリニューアル 青山 高柳 誠二 さん

妻に勧められて、3年ほど前から休祭日コースのトレーニングジムに通い始めました。週に1～2回程度の筋トレと5kmほどのジョギングですが、終了後のサウナと風呂をセットした、私にとっては大変貴重な2時間です。

最近では、お蔭様で鼻炎や冷え性も多少和らいできた気がします。

また、仕事などでのストレス解消にも予想以上に役立っています。

これから更に社会情勢が複雑に変化し、人間関

係づくりも難しくなる環境下では、如何に精神と肉体のバランスの整った自分づくりがポイントになるのではないのでしょうか。

「継続は力なり」ですから、私もこの「心と体のリニューアル」を追い求めて、マイペースのジム通いに励みながら、3月14日開催の豊山エアポートビューマラソンへの参加を楽しみに思っております。



まちづくりや子ども条例などを学ぶ

二常任委員会合同視察研修報告

と き 平成21年10月15日(木)～16日(金)

ところ 富山県小矢部市(15日)、射水市(16日)

小矢部市では、1%まちづくり事業と行政ボランティアの現状と課題について説明を聞いた。1%まちづくりは、個人市民税の1%を市民に還元するシステムで、同市の特色を生かした市民活動の支援が目的である。市民自ら考え、自分達の手作りが対象である。住民自治組織(宗教や政治活動は除く)、ボランティア、NPO団体等へ助成する(新規事業30万円、継続事業15万円)。

平成20年度は、57団体への助成額が1400万円であった。

行政ボランティアは8団体ある。市とボランティアが連携を取り活動しているが、会員の集まりが少ないのが今後の課題とのことである。

1%まちづくり事業を通して住民のボランティア意識が高まり、住民との協働の重要性を学んだ。



小矢部市

射水市では、子ども条例の推進計画の現状と課題、クレジットカードによる市税の納付について説明を聞いた。子ども条例は、子どもの権利を大切にし、一人の人間として位置づけている。推進計画は、「子どもの幸せと健やかな成長を図る社会の実現」を基本理念とし、具体策を平成30年度までの10年計画で進める。



射水市

クレジットカードでの市税の納付は、景気低迷等による滞納者の増加を解消するため、納税環境を改善した。平成20年度からコンビニ納付を始め、続いて21年度には、パソコン・携帯サイトを利用した納付方式を採用したことにより24時間、365日の納付が可能となった。

クレジットカードによる納税は、納税者の利便性を考えるうえで、大いに参考となった。



編集委員

- 委員長 粟田 昌子
- 副委員長 今村 一正
- 委員 尾野 康雄 / 坪井 武成 / 安藤 春一